

## 平成30年度 へき地・地域教育部事業報告

### 1 活動方針

ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成をねらいとした研究及び、教育実践を行う。

### 2 事業内容

月	日	事業名	事業内容
4	27	第1回へき地・地域教育部員会	活動方針の確認と事業計画の立案 (※文書による確認)
5	18	第1回県へき地・地域教育部長会	へき地・地域教育部の方向性の確認 H29 事業報告と H30 事業計画等の承認
7	6	第2回県へき地・地域教育部長会	H30 研究推進について 優良青年会員の表彰候補者内定 (※不参加)
10	11 12	第67回全国へき地教育研究大会京都大会	(※不参加)
10	31	愛媛県へき地・地域教育研究大会(西予市立城川小・城川中)	
1	25	第3回県へき地・地域教育部長会	H30 事業や研究推進の反省 H31 県へき地・地域教育研究大会に向けて
2	1	第2回へき地・地域教育部員会	H30 実践事例報告集(地域教育・複式指導案集)の作成と配付について H30 事業や研究推進の反省・H31 への志向 (※文書による確認)
2	22	「H30 実践事例報告集」配付	H30 実践事例報告集(地域教育・複式指導案集)の作成と配付
○ 「全国へき地教育新聞」代 ○ 関連図書(実践事例集「豊かな学びの継承」3冊)代			

### 3 今年度の反省と来年度への志向

- 今年度も各校において、地域と積極的に連携を図った教育実践がなされた。また、真穴小・双岩小・川上小の3校においては、効果的な複式の授業が展開された。その様子は、昨年度から作成している『実践事例報告集』にまとめられている。各校における最新の取組の状況を掲載したものができ上がり、全小中学校へ配付した。この冊子を通して、各校においてこれまでの実践活動を「地域教育」の視点で見直すことができるとともに、他校との情報交換に役立てることができた。また、複式学級の指導案については、29年度までは複式学級の研究授業を通して行われていた〈複式学級における学習指導法の継承〉ができた。来年度も、この『実践事例報告集』の作成は継続していきたい。
- 「県へき地・地域教育部長会」及び「県へき地・地域教育研究大会」に参加し、情報収集等の活動を行ったり、大会運営に携わったりした。今後は、地域連携・協働の在り方に関する情報交換の必要性が一層求められる。来年度は、学校と地域との連携・協働に関する動向(県下のコミュニティ・スクールや学校支援地域本部、地域学校共同本部の現状等)について得た情報を各部員に伝達していくことや部員間の情報交流も工夫して行いたい。